

7月13日・14日に開催された
「湧水の郷あらや風鈴まつり2019」で
行われた新屋表町通り打ち水大作戦の様子
「エイ！涼しくな一れ！」



あきた 市議会だより

No.175

令和元年
8月2日

7月4日に開催された
「いっしょにあそぼ！
らんrun☆ホール」の
魚釣りコーナーの様子
「どんな魚が釣れるかな？」



秋田市議会ではLINEによる情報発信を
しています。LINEの「友だち追加」から
「ID検索 (@akitacity_gikai)」
または「QRコード」で登録できます。



5月臨時会・6月定例会の概要	…… P 2～3
新しい議長、副議長を選出	
5月臨時会・6月定例会の議決結果	… P 3～4
一般質問	…………… P 5～8
平成30年度政務活動費科目別収支状況	… P 8
新しい常任委員等の紹介	…………… P 9
常任委員会の審査から	…………… P 9
全員協議会の開催	…………… P 10
9月定例会のお知らせ(予定)ほか	…… P 10

5月臨時会・6月定例会の概要

5月21日～5月22日

6月6日～6月28日

新しい議長、副議長が決まりました

議長に **岩谷 政良氏** 副議長に **小野寺 誠氏** を選出



岩谷政良議長

平成19年から連続
4期当選。
これまで予算決算
委員会委員長等歴
任。現在70歳



小野寺誠副議長

平成17年から連続
5期当選。
これまで総務委員
会委員長等歴任。
現在62歳

4月の市議選を経て、5月臨時会で議長に就任することになりました。

令和に時代が変わり、市制施行130周年の節目の年に大役を仰せつかり、大変光栄なことと同時に、議長という職責の重さを痛感しております。

現在の少子高齢化・人口減少社会にあって、本市を取り巻く環境も厳しさを増している中で、「イージス・アショア」の配備など、課題が山積しておりますが、まずは、議会として車の両輪である当局と相まって、諸課題の解決に向け、鋭意取り組んでまいりたいと考えております。

今後とも、本市の発展のために活発な議論を重ねながら、市民に信頼される議会を目指し、議長としての務めを果たしていきたいと考えております。

この5月臨時会で、議員各位のご推挙により副議長の要職に選任されましたこと、この上なく光栄に思うと同時に、正直なところ胸のうちは大変な重責の念でいっぱいでありました。

本市を取り巻く現状は、若年層の流出と少子高齢化による人口減少対策が急務であることは言うまでもありません。議会と行政が力を出し合い両輪となつて取り組んでいくことが第一と考えております。

議員として「市民の目線になつて幸せを実感できる市政へ」を掲げながら本市の発展に取り組みんでまいりましたが、まだまだ努力不足であります。

与えられた任期を議長とともに本市の発展と市民に信頼される議会を目指してまいりますので、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

主な議案

5月臨時会

5月臨時会では、正副議長の選挙、常任委員、議会運営委員の選任を行ったほか、秋田市介護保険条例の一部を改正する件、条例案1件および補正予算案1件を可決したほか、単行案3件を可決・承認しました。また、秋田市監査委員の選任について同意を求める件の人事案1件について同意しました。

6月定例会

6月定例会では、秋田市森林環境譲与税基金条例を設定する件などの条例案14件、単行案16件、補正予算案3件および議員提案による意見書案2件を可決したほか、人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件の人事案1件に同意しました。

単行案

県・市連携文化施設整備事業に係る建築等工事施行協定を締結する件

工事場所 千秋明徳町地内の負担額

83億6千945万1千900円

(工事費用の総額)

196億9千282万8千円

協定の相手方

秋田県知事 佐竹 敬久

人事

監査委員

工藤 藤新 一氏(新任)

予算

林業施設災害復旧事業

平成29年8月の大雨により被災した林道の復旧・安全確保を図ります。

・新城線および湯の里線の一部路肩復旧

1千160万円



被災した林道湯の里線

汎用機オープン化事業

現行の汎用機システム（住民記録、税、福祉等の17業務）について、地域情報プラットフォームに準拠したオープンシステム化を図るため、令和3年度までの3年間で、移行するデータの出力作業等を委託します。

債務負担行為設定

1億6千858万7千円

未婚の児童扶養手当受給者臨時・特別給付金給付事業

児童扶養手当受給者のうち、未婚のひとり親に対して臨時・特別給付金を給付します。

給付額 1万7千500円

対象者数 300人（見込み）

575万1千円

泉・外旭川新駅（仮称）等整備事業

事業期間 平成29年度から令和3年度まで

継続費総額

20億3千162万9千円

事業内容

駅前広場整備、東西自由通路の階段およびエレベーター整備

1億468万2千円

障がい福祉等システム改修経費

令和元年10月に施行される障害福祉サービス等の報酬改定や処遇改善加算の見直し、障害児通所支援の利用者負担の無償化に対応するため、システムを改修します。

1千30万2千円

条例

秋田市森林環境譲与税基金条例を設定

森林環境譲与税を森林の整備およびその促進に要する経費に充てることを目的とする森林環境譲与税基金を設置するため、条例を設定しました。

施行期日

令和元年7月1日から

秋田市市道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正

道路構造令の一部改正に伴い、自転車通行帯の設置要件等を定めるとともに、規定を整備するため、改正しました。

施行期日

公布の日から

単行案

旧県立美術館改修工事請負契約を締結する件

工事場所 千秋明徳町3番7号

契約金額 4億7千784万円

契約先 中央土建・伊藤・藤重特定建設工事共同企業体

工事概要 内外改修工事、耐震補強工事、エレベーター増築工事、外構工事

工期

令和2年6月30日まで



（仮称）秋田市文化創造交流館イメージ図（旧県立美術館）

人事

人権擁護委員

長谷部 正 直氏（再任）

5月臨時会の議決結果

◆全員一致で可決・承認・同意した議案

全員一致で可決等された議案は件名のみを掲載しています。

件 名		
市長提出	条例案	秋田市介護保険条例の一部を改正する件
	単行案	秋田市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する専決処分について承認を求める件
		秋田市国民健康保険条例の一部を改正する専決処分について承認を求める件
	人事案	秋田市監査委員の選任について同意を求める件 ※

※議員に関係のある事件が議題となったため、市民クラブ工藤新一議員が除斥となっています。

◆賛否が分かれた議案

賛否が分かれた議案は各議員の表決状況を掲載しています。

件名	議決結果	秋水会										市民クラブ			フロンティア			公明党			共産党			そうせい		議長								
		荻原貴幸	工藤知彦	細川信二	安井正浩	川口雅丈	佐藤宏悦	伊藤巧一	伊藤重隆	菅原琢哉	渡辺正宏	小野寺誠	小木田喜美雄	赤坂光一	安井誠悦	藤枝隆博	見上万里子	工藤新一	花田清美	後藤良	船木純	藤田信	倉田芳浩	小林一夫	牧野守		武田正博	石塚淳子	成沢順子	奈良久	佐藤純子	鈴木知	佐藤純子	武内伸文
市長提出	県・市連携文化施設整備事業に係る建築等工事施行協定を締結する件	可決	○										○			○			○			×			○		議							
	令和元年度秋田市一般会計補正予算（第1号）の件	可決	○										○			○			○			×			○		議							

6月定例会の議決結果

◆全員一致で可決・同意した議案と採択した陳情

全員一致で可決等された議案等は件名のみを掲載しています。

件名	
市長提出	秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例の一部を改正する件
	秋田市市税条例等の一部を改正する件
	秋田市東西歩道橋等広告板使用料条例および秋田市行政不服審査法施行条例の一部を改正する件
	秋田市コミュニティセンター条例の一部を改正する件
	秋田市児童福祉施設の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件
	秋田市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件
	秋田市公有林野官行造林の保護等に関する条例の一部を改正する件
	秋田市森林環境譲与基金条例を設定する件
	秋田市市道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する件
	秋田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する件
	秋田市立学校授業料等徴収条例の一部を改正する件
	秋田市手数料条例の一部を改正する件
	秋田市火災予防条例の一部を改正する件
	秋田市水道事業給水条例の一部を改正する件
	秋田駅東西連絡自由通路天井耐震補強工事に関する施行協定を締結する件
	旧県立美術館改修工事請負契約を締結する件
	旧県立美術館電気設備改修工事請負契約を締結する件
	旧県立美術館機械設備改修工事請負契約を締結する件
	県指定有形文化財旧松倉家住宅修復整備工事請負契約を締結する件

件名	
市長提出	単行案
	仁井田地区コミュニティセンター（仮称）新築工事請負契約を締結する件
	市道仙鶴台線道路災害復旧（30災152号）工事請負契約を締結する件
	はしご付消防ポンプ自動車を買入れる件
	消防ポンプ自動車を買入れる件
	救急自動車を買入れる件
	秋田市立明德小学校屋内運動場大規模改修工事請負契約を締結する件
	秋田市立川尻小学校屋内運動場大規模改修工事請負契約を締結する件
	秋田市立土崎南小学校屋内運動場大規模改修工事請負契約を締結する件
	凍結抑制剤散布車を買入れる件
	令和元年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第1号）の件
	令和元年度秋田市介護保険事業会計補正予算（第1号）の件
	人事案
議員提出	人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件
	信頼される政府統計を目指したさらなる統計改革に関する意見書提出の件
陳情	地方財政の充実・強化に関する意見書提出の件
	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について

◆賛否が分かれた議案等

賛否が分かれた議案等は各議員の表決状況を掲載しています。

件名		議決結果	秋水会												市民クラブ				フロンティア			公明党			共産党			そうせい			議長			
			萩原貴幸	工藤知彦	細川信二	安井正浩	川口雅丈	佐藤宏悦	伊藤一榮	伊藤巧一	熊谷重隆	菅原琢哉	渡辺正宏	小野寺誠	小田喜美雄	赤坂光一	安井誠悦	藤枝隆博	見上万里子	工藤新一	花田清美	後藤良	船木純信	藤田芳浩	倉田一夫	小林一守	牧野正子	武田秀博	石塚淳子	成沢順子	奈良久知	佐藤純子	佐藤純文	武内伸健
市長提出	泉・外旭川新駅（仮称）等整備事業に伴う都市施設新設工事施行協定を締結する件	可決	○												○				○			○			×			○			議			
	泉・外旭川新駅（仮称）東西自由通路整備工事請負契約を締結する件	可決	○												○				○			○			×			○			議			
	令和元年度秋田市一般会計補正予算（第2号）の件	可決	○												○				○			○			×			○			議			
請願	陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の配備反対に関する市長の態度表明について	不採択	×												×	○	×	○	×	○			×			○			×			議		
	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元に関する意見書の提出について	不採択	×												○				○			×			○			○			議			
陳情	核兵器禁止条約への署名・批准に関する意見書の提出について	不採択	×												○				○			×			○			○			議			

★賛否は、賛成（○）と反対（×）で掲載しています。

○：賛成【可決・承認・認定・同意・採択】、×：反対【否決・不承認・不認定・不同意・不採択】、議：議長

★略記している会派の名称

「フロンティア」はフロンティア秋田、「公明党」は公明党秋田市議会、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団

各議員の表決状況は市議会ホームページでも公開しています。

〔継続審査となった案件〕

請願◆住民の安全を脅かす陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画反対に関する決議について

陳情◆陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備は認めないことに関する決議について

◆陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備反対に関する決議について

◆陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備は認められないことに関する決議について

◆陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の陸上自衛隊新屋演習場への配備計画反対に関する決議について

◆陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の新屋勝平地区への配備反対に関する決議について

◆陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の配備反対に関する決議について

継続審査とは…議案等の審査に当たり、さらに調査する必要があるなどとして会期中に審査を終了できない場合、委員会からの申し出により、会期終了後も引き続き審査を行うことをいいます。

意見書を提出しました

秋田市議会の意見として、次の意見書を、国会および関係行政庁に提出しました。

○信頼される政府統計を目指したさらなる統計改革に関する意見書

○地方財政の充実・強化に関する意見書

一般質問

市政全般にわたり、7人の議員が質問しました。

秋水会

菅原琢哉

◇投票率向上と女性議員の増加◇外旭川複合施設構想◇少子化は本当にとめられるのか◇入札参加資格要件◇ネット社会から人権を守るために◇空き家と耕作放棄地◇イージス・アショア配備◇DNAＲ◇小・中学校の適正配置◇図書館の効率的利用◇コミュニティセンターの指定管理◇電力の地産地消◇北部地域の諸課題

外旭川複合施設構想

問 同構想にドーム型スタジアムや秋田市卸売市場の整備を加えて評価してはどうですか。

答 新スタジアムについては、令和元年度、3候補地に関して、県と本市が中心となり、新スタジアム整備構想策定協議会の報告書で挙げられた課題を掘り下げて検討することとしています。その結果、仮にいずれも整備が困難と判断された場合には、ほかの場所を検討対象とする可能性もあるととらえています。現時点では新たな場所を加える

段階にありません。また、

同市場については、秋田市卸売市場経営改革プラン行動計画で、6年度までに整備に関する方向性を示すこととし、市場内の事業者に施設整備等に関する意向調査を行っています。今後、調査を踏まえて具体的な検討を行うこととしており、同構想にかかわらず、市場用地の有効活用による民間活力導入については、今後の市場のあり方に関して一定の方向性をまとめた後の議論になります。

イージス・アショア

問 イージス・アショアそのものの必要性をどう考えていますか。

答 イージス・アショアを含む日本のミサイル防衛は、わが国を取り巻く安全保障環境を踏まえ、国会での審議を通じて決定されてきたものであると認識しており、国民の安全・安心を確保する上で一定の防衛力を確保することは、国の責務であると考えています。

市民クラブ

見上万里子

◇市長の政治姿勢◇台湾及び中国との交流◇農林水産業◇第2次秋田市総合交通戦略◇バリアフリーの取り組み◇障がい者の就労支援◇教育行政◇保育行政◇交通事故等の被害を減らすための取り組み

イージス・アショア

問 市長は、イージス・アショアを陸上自衛隊新屋演習場に配備することについて、次期市長選の争点になると考えているのですか。

答 先に防衛省から説明を受けた調査結果等に誤りがあったことから、本市としては、適地調査も振り出しに戻ったものと考えており、次期市長選挙の際に争点となるかは、現時点では明確に判断できる状況になり得るものと考えています。



バリアフリー

問 本庁舎内で点字ブロックがない所のうち、視覚障がい者が利用する窓口前に、歩行誘導ソフトマットを設置するべきではありませんか。

答 視覚障がい者の窓口への案内については、バリアフリー関係法令の基準にのっとり、庁舎1階総合窓口までは、点字ブロックと音声案内による誘導を行っています。また、目的の窓口までは、障がい者団体からの人的支援が望ましいとの意見を踏まえ、フロアマネジャーのひじにつかまってもらうことで案内誘導を行っています。当面は、現状の取り組みを継続していきませんが、フロアマネジャーを通じて、庁舎の窓口を利用する障がい者の方々にマットの設置について、ご意見を伺っていきます。



本庁舎内の点字ブロックと音声案内板

請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに議長あてに提出してください。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話018（888）5784

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

フロンティア秋田

後藤 良

◇イージス・アショアの配備
◇地域の活性化及び交流人口の拡大
◇子育て支援
◇小中学校の教室等の暑さ対策
◇高齢者の交通事故抑止策
◇地域の諸課題

スケートボードパーク

問 若者の定住や交流人口の拡大などを目的に、スケートボード等ができる場所を確保するべきではありませんか。また、将来的にスケートボードパークを新設する考えはありませんか。

答 スケートボードの関連器材を仮に施設の屋外に設置する場合、駐車場使用が制限されるなどの課題も多く、現状では設置場所の確保は難しい状況にあります。また、スポーツ施設については、当面既存施設を優先的に整備するとしており、現段階では施設の新設は考えていませんが、今後、競技人口の推移を見極めながら、その必要性を検討していきます。



ジャイアントパンダ

問 大森山動物園へのジャイアントパンダの導入による費用対効果をどのように考えていますか。また、今後、どのように誘致活動を展開していくのですか。

答 ジャイアントパンダ2頭を受け入れた場合、中国への保全協力金が年間約1億2千万円、飼育等に係る維持コストが約5千万円、獣舎等の建設コストが約12億円と見込んでいます。また、年間入場者数を現状の約28万人から約78万人に増加すると想定し、民間シンクタンクに経済波及効果の簡易的試算を依頼した結果、その効果は約48億円となるものです。今後、誘致に一定のめどがついた段階で、設置場所などを検討したいと考えています。誘致については、国家間の協議が前提の非常に難しい事案であり、引き続き、さまざまな機会をとらえて国に働き掛けていきます。



公明党秋田市議会

石塚 秀博

◇古川及び猿田川流域の総合的な治水対策等
◇子育て支援
◇水道事業
◇イージス・アショアの配備

仁井田浄水場の整備

問 建物以外の施設の液状化対策についてどのように考えていますか。また、同浄水場全体の浸水対策としての盛り土の高さは、どのような根拠に基づき、どの程度と考えていますか。

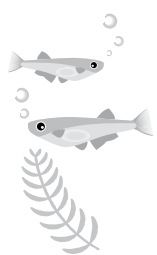
答 同浄水場の液状化対策として、ろ過池等建物以外の施設については、建物と同様に支持地盤までの杭基礎構造とするほか、場内の管路については、ずれや継ぎ手の抜け出しを防止するため耐震管を採用します。加えて、自家用発電設備の燃料等の運搬通路について複数のルートの確保等を検討しているほか、マンホールの浮上対策なども基本設計で検討しています。また、同浄水場は、秋田市洪水ハザードマップにおいて最大3メートルの浸水が想定されていることから、その対

策を含め現在基本設計を行っており、盛り土の高さは敷地内の最も低い地点で約3メートル、最も高い地点で約0.8メートル、平均で約2メートルになると見込んでいます。敷地全体が浸水しない高さまで盛り土をすることににより、災害時でも、安全・確実な浄水処理機能を確認していきます。

古川および猿田川流域の総合的な治水対策

問 国、県、市が連携した、効果的かつ効果的なハード対策メニューの策定をいつまでに完了させ、設計や建設に移行する時期をどのように想定していますか。

答 両河川流域の浸水被害の軽減に向けた対策については、効果や費用を考慮しながら選定した上で、設計や建設時期など、今後の整備スケジュールを令和元年12月までに取りまとめるとしており、引き続き国や県と連携しながら、鋭意、検討を進めていきます。



■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル121ch）と、市議会ホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

9月定例会の本会議は、9月2日、11日、12日、13日、26日、10月7日に開催予定です。

日本共産党秋田市議会議員団

佐藤純子

◇市長の政治姿勢◇教育◇住民福祉◇固定資産税の減免◇家庭ごみの有料化

補聴器購入の助成

問 高齢難聴者に対して市独自に補聴器購入の助成をするべきではありませんか。また、国に対して、補助制度の創設を求めるべきではありませんか。

答 聴覚障害による身体障害者手帳をお持ちの方の補聴器購入については、国の補助制度である補装具費支給の対象となっています。また、身体障害者手帳の対象とならない軽度・中等度の難聴者の補聴器購入については、全国市長会が、補装具費の支給制度で対応するよう国に要望しており、現在のところ、本市独自の助成は考えていません。



国民健康保険税

問 高校生以下の均等割は減額・免除するべきではありませんか。

答 高校生以下の均等割を減額・免除することは、現行制度では、その財源を他の被保険者あるいは市民全体で負わなければならず、財源および税の公平性の観点から問題があると考えています。こうした状況を踏まえ、本市では子どもの均等割を減額することは、各市町村が独自に実施するのではなく、医療保険および社会保障全体ならびに子育て支援の観点から、国の制度として議論されるべきものと考えています。



国保年金課窓口の様子

秋水会

細川信二

◇移住・定住の促進◇子供の安全確保◇新学習指導要領◇幼児教育・保育◇津波に対する防災対策◇ジャイアントパンダの誘致◇街の明かり◇保健所の臨時営業許可◇秋田港の振興◇地域の諸課題

子どもの安全確保

問 交通事故から子どもたちを守るため、通学路などの路面のカラー化や路面標示の工夫等により事故防止が実感できていることから、市内全小中学校および幼稚園・保育所等の周辺など、より多くの場所を実施する考えはありませんか。

答 本市では、通学路の安全確保に向け、教育委員会、学校、警察、道路管理者等で組織する「秋田市通学路の交通安全確保に関する連絡協議会」を設置し、合同点検を実施しており、その結果を踏まえ、信号機を設置したり、路面のカラー化やゾーン30の区域を拡大するなど、交通危険個所の状況に応じた対策に取り組んでいるところ です。また、

幼稚園・保育所等の散歩コースの安全確保については、大津市の痛ましい交通事故の発生を受け、市、警察、道路管理者による「交通安全危険箇所に関する緊急対策会議」が開催され、相互に協力していくことを確認したところです。今後も引き続き、関係機関との連携を深め、通学路等の安全確保に努めていきます。

防災教育

問 児童生徒への防災教育という観点から、津波シミュレーションシステムの今後の活用方法をどのように考えていますか。

答 同システムについては、出前講座として、町内会や企業等の防災研修の場に出向いて津波からの避難を疑似体験してもらうこととしております。特に児童生徒への防災教育に当たっては、心的外傷後ストレス障害、いわゆるPTSDに十分配慮し、恐怖を感じさせるだけのものにならないよう、学校等と連携し活用していきます。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問

秋水会

佐藤宏悦

◇人口減少対策◇本市のまちづくり◇外旭川複合施設構想の実現◇幼児教育・保育の無償化◇保育現場の安全管理◇高齢者の自動車運転免許証の返納◇自治体ポイントの活用◇8050問題等◇都市計画道路「上北手御所野線」の早期着工◇農作物の鳥獣被害

福祉避難所の指定

問 南ヶ丘ニュータウンの秋田県立秋田きらり支援学校は、市の福祉避難所に指定されていますが、車両が通行可能な道路が1カ所しかない立地での指定を適切と考えているのですか。

答 福祉避難所の指定に当たっては、国のガイドラインに基づき、耐震性など施設自体の安全性や、バリアフリーなど施設内における要配慮者の安全性および避難スペースが確保されていることに加え、本市においては、24時間受け入れ可能な施設を対象としています。同支援学校は、これらの要件をすべて満たしていることから、福祉避難所の

指定は適切であると考えています。

幼児教育・保育の無償化

問 国では通園送迎費、食材料費および行事費を無償化の対象外としています。その理由は何か。また、市として無償化する考えはありませんか。

答 国では、通園送迎費や行事費など、子ども一人一人の状況に応じて負担が異なる経費については、実費負担を原則としています。また、食材料費については、在宅で子育てをする場合でも日常生活で生じる費用のため、保護者が負担することが原則であり、無償化の対象から除くとしています。本市としても、この考え方を基本としつつ、子育て支援全体のバランスを考慮した上で、これらの費用の無償化について、あらためて検討していきます。



政務活動費の使い道を公開しています

政務活動費は、市議会議員が市政に役立つ調査研究をするために必要な経費の一部として、市から市議会の会派に交付されています。金額は、議員一人につき月額10万円で、年度ごとに精算し、残余金がある場合は市に返還されます。政務活動費収支報告書と領収書等の写しは、平成25年度から平成29年度までの分は閲覧で、平成30年度分は閲覧およびインターネットで公開しています。

(秋田市議会ホームページアドレス <https://www.city.akita.lg.jp/shigikai/index.html>)
詳しくは、議会事務局総務課（電話 018-888-5782）までお問い合わせください。

平成30年度 政務活動費科目別収支状況

(金額単位：円)

科 目	秋水会	そうせい	市民クラブ	公明党 秋田市議会	フロンティア 秋田	社会・市民 連合	日本共産党 秋田市議会 議員団	合 計
所属議員数	16人	6人	4人	4人	4人	3人	2人	39人
収 入								
交 付 額	19,200,000	7,200,000	4,800,000	4,800,000	4,800,000	3,600,000	2,400,000	46,800,000
預 金 利 子	62	22	10	1	6	9	7	117
会派繰入金	0	0	0	0	398,975	0	0	398,975
収 入 合 計	19,200,062	7,200,022	4,800,010	4,800,001	5,198,981	3,600,009	2,400,007	47,199,092
支 出								
研究研修費	2,895,434	664,626	235,468	435,174	55,210	125,600	539,484	4,950,996
調査活動費	3,665,861	373,280	625,504	350,973	826,582	77,332	0	5,919,532
資料作成費	2,522,121	180,002	1,129,393	403,075	615,576	382,320	122,688	5,355,175
資料購入費	1,150,561	771,635	458,610	416,682	176,728	597,955	216,420	3,788,591
広 報 費	3,433,689	3,314,562	1,898,591	0	3,050,551	634,392	916,920	13,248,705
広 聴 費	0	629,819	0	0	220,088	13,716	3,880	867,503
人 件 費	634,692	0	0	0	79,600	98,325	135,200	947,817
事 務 所 費	0	0	0	0	0	0	0	0
事 務 費	959,339	332,904	234,383	332,672	174,640	627,941	107,021	2,768,900
支 出 合 計	15,261,697	6,266,828	4,581,949	1,938,576	5,198,975	2,557,581	2,041,613	37,847,219
残 余 金	3,938,365	933,194	218,061	2,861,425	6	1,042,428	358,394	9,351,873

新しい常任委員等を紹介します

予算決算委員会

◎見上 万里子（市ク） ○荻原 貴幸（秋水）ほか議長を除く全議員

総務委員会

◎細川 信二（秋水） ○佐藤 広久（共産）
 小木田 喜美雄（秋水） 渡辺 正宏（秋水）
 佐藤 宏悦（秋水） 見上 万里子（市ク）
 小林 一夫（フ秋） 石塚 秀博（公明）
 小松 健（そう）

厚生委員会

◎藤田 信（フ秋） ○藤枝 隆博（市ク）
 小野寺 誠（秋水） 菅原 琢哉（秋水）
 荻原 貴幸（秋水） 倉田 芳浩（フ秋）
 牧野 守（公明） 奈良 順子（共産）
 武内 伸文（そう）

教育産業委員会

◎鈴木 知（共産） ○工藤 知彦（秋水）
 伊藤 一榮（秋水） 川口 雅丈（秋水）
 工藤 新一（市ク） 安井 誠悦（市ク）
 後藤 良（フ秋） 成沢 淳子（公明）

建設委員会

◎安井 正浩（秋水） ○武田 正子（公明）
 赤坂 光一（秋水） 熊谷 重隆（秋水）
 伊藤 巧一（秋水） 花田 清美（市ク）
 船木 純（フ秋） 佐藤 純子（共産）
 齊藤 勝（そう）

議会運営委員会

◎川口 雅丈（秋水） ○伊藤 一榮（秋水）
 安井 正浩（秋水） 工藤 知彦（秋水）
 工藤 新一（市ク） 藤田 信（フ秋）
 武田 正子（公明） 鈴木 知（共産）
 小松 健（そう）

◎は委員長、○は副委員長、（ ）は会派名で、「秋水」は秋水会、「市ク」は市民クラブ、「フ秋」はフロンティア秋田、「公明」は公明党秋田市議会、「共産」は日本共産党秋田市議会議員団、「そう」はそうせい

常任委員会の審査から

総務委員会

総務部、企画財政部、会計課、消防本部などの所管事項

委員 平成24年度に導入

した救急車両の更新は、車両本体の耐用年数だけで考えると時期が早いですが、更新する理由は何ですか。

消防本部

救急車両の更新

新時期は、国で定める耐用年数は5年ですが、本市では購入から7年または走行距離10万キロメートルと定めています。この基準は、人の命を預かる緊急車両という特殊性にかんがみ、走行中の車両トラブルにより搬送時間が遅れることがないよう、一般的な車両と比べて短くなっています。また、国の基準により、本市の場合3台以上の予備救急車を保有しなければならぬことから、更新後の旧車両を約3年間予備車とし、全隊が出勤した場合等の予備の編成隊で使用するほか、車検時の代替車両としても使用しており、予備車としての使用を通して10年以上は使用しています。



教育産業委員会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員

秋田駅東西連絡自由通路天井耐震補強工事

は、JR東日本秋田支社において4カ年の分割施工の予定ですが、同通路は人の往来が多いことから、地震等による不測の事態を避けるため、できる限り工期を短縮するべきではありませんか。また、同通路は市道であることから、市は道路管理者として同社に対し、作業時間外にも誘導員を配置するなど、十分な安全対策を求めるべきではありませんか。

観光文化スポーツ部

同工事の工期は、これまでも早期完成の観点で同社と協議を重ねていますが、主に人の往来の少ない夜の作業を予定しており、1日の作業時間が非常に短いことから、適切な施工を行う上でも4カ年を要するものです。また、安全対策については、作業時間外においても十分に行うよう、道路管理者として同社に求めていると考えています。

イーゼス・アショアに関する 全員協議会を開催しました

6月5日に議場で全員協議会を開催し、イーゼス・アショアの配備候補地としている新屋演習場に関する各種調査結果と防衛省の検討結果に関して、深澤雅貴防衛省大臣官房審議官、五味賢至防衛省防衛政策局戦略企画課長を初めとする防衛省職員から説明を受けました。また、調査データの誤りについて陳謝がありました。



説明を聞く議員と傍聴者

その後、各会派の代表者などから、各種調査結果や防衛省の検討結果および調査データの誤りなどに関する質問が相次ぐなど、約4時間にわたり活発な議論が交わされました。

全員協議会とは・・・

市議会議員の全員が参集し、市政の重要な事項または議会の運営に係る基本的な事項に関して協議するために開かれる会議です。傍聴も可能です。



防衛省職員の説明の様子

9月定例会のお知らせ(予定)

日程

9月2日	本会議
11日～13日	本会議「一般質問」
17日～19日	常任委員会・分科会
24日	常任委員会
26日	本会議・常任委員会
27日～10月1日	分科会(土日除く)
10月3日	常任委員会
7日	本会議

一般質問予定者

荻原貴幸、安井正浩、川口雅丈、伊藤巧一(秋水会)
藤枝隆博(市民クラブ)
船木 純(フロンティア秋田)
成沢淳子(公明党秋田市議会)
佐藤広久(日本共産党秋田市議会議員団)
武内伸文(そうせい)

今回のあきた市議会だよりは令和元年11月15日発行予定です。



※秋田市議会では、本会議、常任委員会、分科会などの傍聴ができます。
日程および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。

市議会議員選挙後、編集委員が新たなメンバーになりました。
市民の皆さまにわかりやすく議会の動きをお伝えできるよう努めてまいりますので、ご意見・ご感想がありましたらお寄せください。
(編集委員一同)

委員長 安井 誠
副委員長 後藤 良悦
委員 荻原 貴幸
牧野 順子
奈良 伸文
武内 文子



新しい編集委員です

